

小話

絵画のことだつたらなんでも知っていると、知ったかぶりをするおばあちゃんがいきました。一枚の絵をみて「これ、ルノアールね」というと、係りの者が「いえ、奥様、それはシヤガールでございます。」「あ、そう。まちがっちゃったわ。ではこちらもシヤガールね。」「いえ、奥様、それがルノアールでございます。」「あ、そうなの……。あ、これなら私もわかるわ、ピカソでしょ。」係りの者がいいました。「いえ、奥様、それは鏡でございます。……」

ある内気な女の子がいきました。小さいときから女だらけの姉妹で、十代も女子高に通い、やがて年頃になりました。世話焼きおばさんに連れられてお見合いの席へ。
「なにせ初めてですからすっかり上がつてしまひ。ご趣味は？」と聞かれ真つ赤になりながら言いました。
「はい、お茶とお華と、おとこを少々……」
ホントはお琴と言いたかつたのに。

ある通夜、喪主に代わつて葬儀委員長の挨拶。
「故人は若くしてご主人を失ひ、それから三人の男を相手に、日夜汗にまみれて頑張つてこられました。」
男の子と言うべきところを男と言つたのだ。
私は爪を立て歯を食いしばつた。前にすわつた女性の肩が震えていた……

笑えましたか？人は笑うだけでガン細胞は三千個くらい死んでしまふと言われるくらいに「笑い」は人間にしかできない、ハイレベルな健康法なのです。
口内炎や風邪にかかりやすい方は、免疫が低い方なので、栄養剤だけでなく「笑い」も取つてみてはいかがでしょうか。

先月、この小話ではありませんが、私も柄にもなく県立美術館に「ピカソ展」を見に行つてきました。正直「何がどうなつてゐるのか！？」まづたく理解できず、回りの真剣に鑑賞されてゐるお客様を見て、自分だけ解らないのでは……。少し落ち込んで帰つてきましたが、なぜか気分はとて良く気持ちよく感じました。多分「ピカソ」は理解できなかったけど美術鑑賞という私的には「超非日常的」な時間を持てたことが、新鮮に感じたからだと思います。
「挑戦」があります。時々、今若さ（若返りの秘訣）の定理に「好奇心」と「挑戦」があります。時々、今まで体験しなかつたことをやつて少年や少女の頃のキラキラした顔を思い出してみませんか？

師走も皆様、キラキラ笑顔で乗り切られる事をお祈りしております。
（笑いが出ない忙しい時でも「作り笑顔」でも70%の効果があるそうです）
私は調子に乗つてその一週間後に、今度は映画鑑賞にでかけて、いっぱい感動して涙しました。
（ちなみに映画は「続・三丁目の夕日」です）

